



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G1210号)

平成24年10月31日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

平成24年度ズワイガニ漁況の見通しについて

調査船「たじま」による調査結果等から見た今期のズワイガニ漁況の見通しについて報告します。

1. 今漁期の見通し

- ①解禁直後(但馬沖漁場): 但馬沖の資源量はオスでは前年並み、メスでは前年をやや上回っていると考えられる。漁獲量は全体としては前年並みと予想されるが、メスは分布のかたよりが大きく、地域によっては前年を上回る可能性もある。メスの漁場は 235-240m を中心に形成されると考えられる。
- ②漁期全般(丹後沖～浜田沖漁場): 日本海西部海域全体のズワイガニ資源量は前年より少ないと考えられ、全体として漁獲量は前年並みか前年を下回る可能性がある。

2. 根拠となった情報

① 但馬沖漁場

調査船「たじま」によるトロール漁期前調査(調査月:10月)

調査船「たじま」により、平成24年10月9～11日に、香住沖の水深200～350mおよび津居山沖・浜坂沖の水深235～250mに設けた計12点(図1)でトロール網試験操業(袖先間隔28m、3ノット、30分曳き)を実施した。

- ・**メスがに**: 分布の中心は水深235～240m付近であった。(表1、図2) 入網数は保護区近傍の浜坂沖、香住沖で多かった。メスがに漁場(235～250m水深帯)での1曳網当たり入網数は57.5匹で、前年(47.6匹)を上まわったが、過去5年平均(68.3匹)には及ばなかった。(表2、図3)
- ・**オスがに(硬がに)**: 水深225～250mを中心に入網した。(表1、図2) メスがにの漁場水深帯と分布が重なっていた。200～350m水深帯での1曳網当たり入網数は2.0匹で前年(2.0匹)と同じだったが、過去5年平均(3.1匹)を下回った。(表2、図3) また、甲幅12cm以上の大型個体(13齢)の割合が比較的高かった。
- ・**ミズがに**: 200～350m水深帯での1曳網当たり入網数は4.2匹で前年(28.2匹)、過去5年平均(12.7匹)に比べかなり少なかった。(表1,2) また、脱皮直後の個体も少なかった。

② 丹後沖～浜田沖漁場

水研調査(調査月:5-6月) (独)水産総合研究センター日本海区水産研究所は、A海域(富山県以西)における平成24年のズワイガニ資源量について平成23年より少ないと推定している。(図4,5)

3. その他の情報

- ・但馬沖のオスがにでは甲幅7～11cmの個体(11・12齢)および脱皮直後の個体が極端に少ない状況です。調査定点以外のエリア(200m以浅など)の分布も含め、留意して見守る必要があります。
- ・標識や発信機を付けたカニの放流を実施しています。採捕された方は、当センターまたは最寄りの漁協までご報告下さい。(添付ポスター参照)
- ・エチゼンクラゲの入網がほぼ全域で認められました。(1曳網当たり2～5個体) 急激に増加する可能性は少ないですが、注意して操業して下さい。

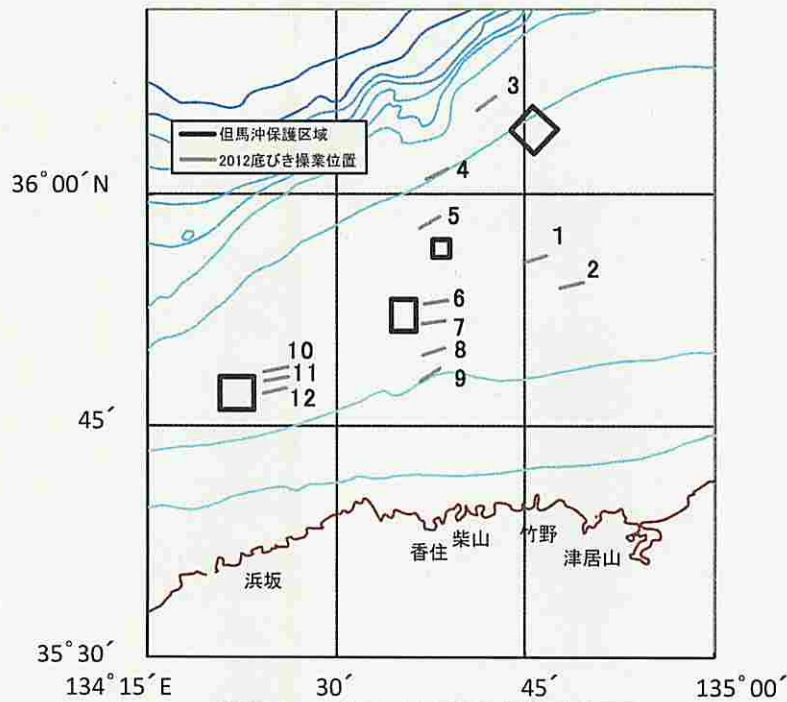
お問い合わせ先: 兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター (担当: 大谷)

TEL: 0796-36-0395 FAX: 0796-36-3684

E-mail: nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ: <http://hyogo-suigi.jp/tajima/>

資料①
(但馬沖)



付図1 但馬沖調査海域図

表1 操業点別のズワイガニ等入網状況

漁場	操業点	曳網水深 (m)	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	イセエビ等 入網重量 (kg/網)	海底 水温*4 (°C)	備 考
			オス*1	ミス*2	メス*3				
津居山・ 竹野沖	1	246→248	11	2	2	4.2	0	1.6	
	2	237→239	8	1	19	3.7	55	1.6	
香住沖	3	335→337	1	2	0	2.4	53	1.0	
	4	303→304	0	9	0	30.9	70	1.2	
	5	279→281	0	3	0	6.6	32	1.3	
	6	248→244	4	2	7	11.3	40	1.8	
	7	239→234	4	2	68	6.4	55	2.0	
	8	222→221	4	4	1	13.2	40	2.2	
浜坂沖	9	204→207	1	4	0	14.6	105	2.6	
	10	245→243	4	0	89	15.8	63	2.3	
	11	240→239	5	0	187	25.7	30	2.3	ヤケガニやや多い。
	12	235→234	7	4	176	10.9	75	2.5	ヤケガニ多い。

表2 曳網当たり入網匹数の前年および過去5年平均との比較

水深帯	漁場	調査年	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	イセエビ等 入網重量 (kg/網)	海底 水温*4 (°C)	備 考
			オス*1	ミス*2	メス*3				
メス漁場水深帯 (235-250m平均)	津居山・ 竹野沖	2011年	4.3	3.3	16.3	16.4	0.0	2.0	
		2012年	9.5	1.5	10.5	4.0	27.5	1.6	
	香住沖	2011年	3.0	4.3	66.3	26.4	0.0	1.5	
		2012年	4.0	2.0	37.5	8.9	47.5	1.9	
	浜坂沖	2011年	5.0	8.0	60.0	17.9	0.0	1.8	
		2012年	4.6	5.2	124.4	18.3	33.6	2.1	
但馬沖 (平均)	過去5年平均*5	4.4	2.9	68.3	19.3	44.0	2.1	漁場別平均	
	2011年	4.1	5.2	47.6	20.2	0.0	1.8	〃	
	2012年	6.0	2.9	57.5	10.4	36.2	1.9	〃	
全水深帯 (200-350m平均)	但馬沖 (平均)	過去5年平均*5	3.1	12.7	-	11.2	82.7	1.7	水深帯別平均
		2011年	2.0	28.2	8.3	7.2	0.0	1.5	〃
		2012年	2.0	4.2	9.7	13.0	56.0	1.7	〃

*1 硬ガニ(甲幅9cm以上・硬甲・ハサミ大) *2 2 11齢(二皮)と硬ガニ以外の12・13齢
*3 漁中にクロコになる個体 *4 漁網監視装置より *5 2008年以前は網の規模に応じ1.4倍に補正

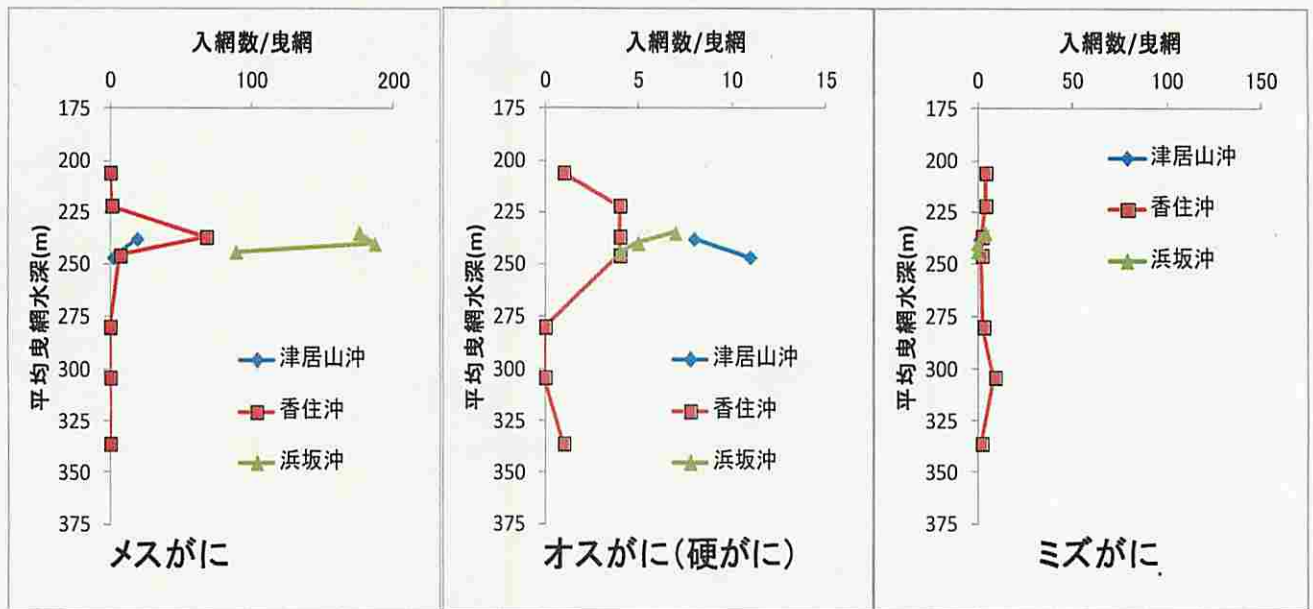


図2 平均曳網水深と入網数(但馬沖)

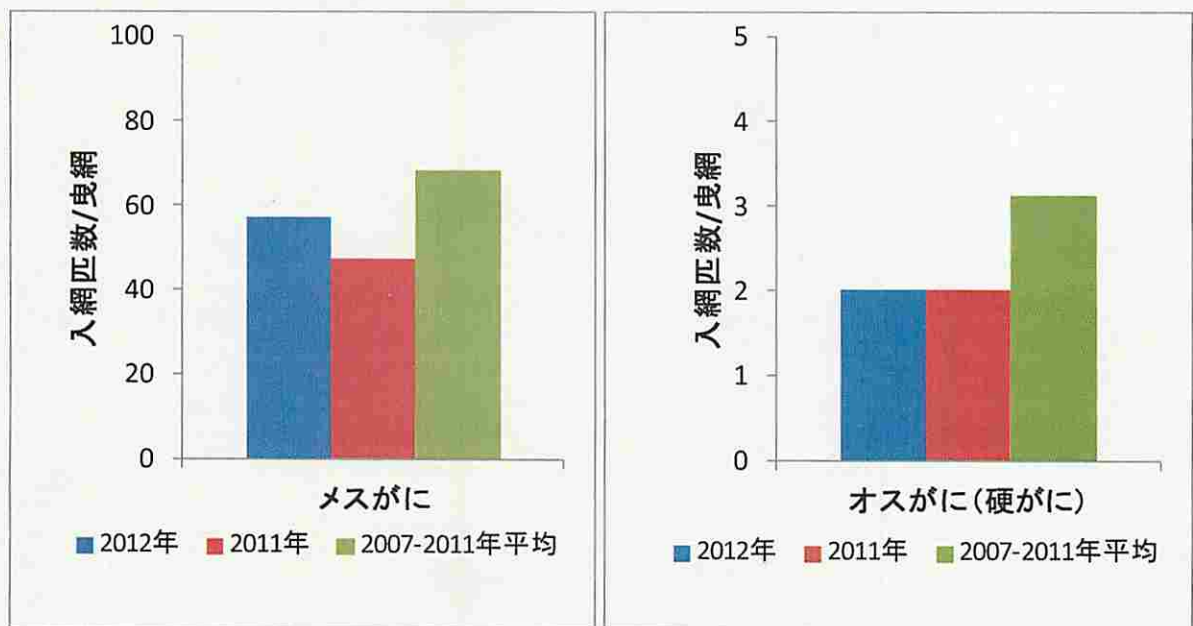


図3 平均入網匹数の過去との比較(但馬沖)
(メスがに:235-250m平均、オスがに:全水深帯平均)

資料②
(他の海域)

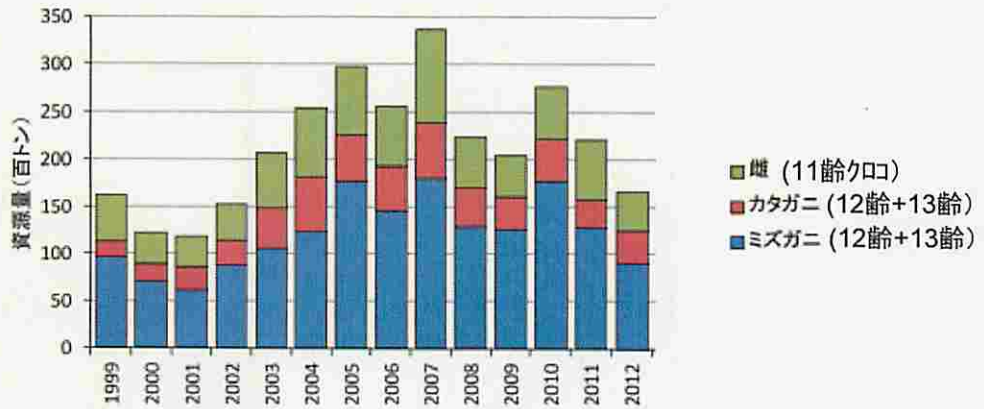


図4 漁期時点における推定資源量

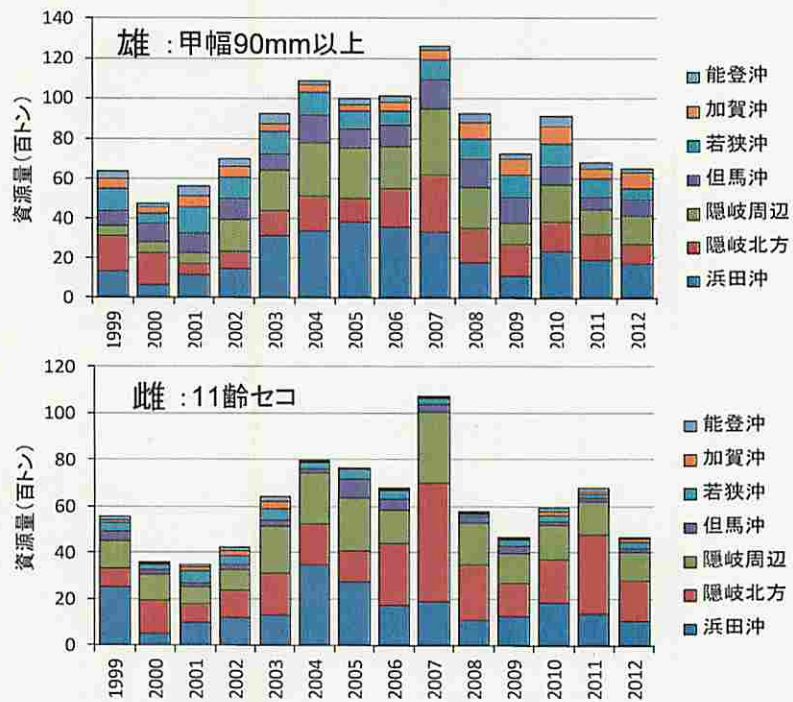


図5 小海区別 推定漁獲対象資源量

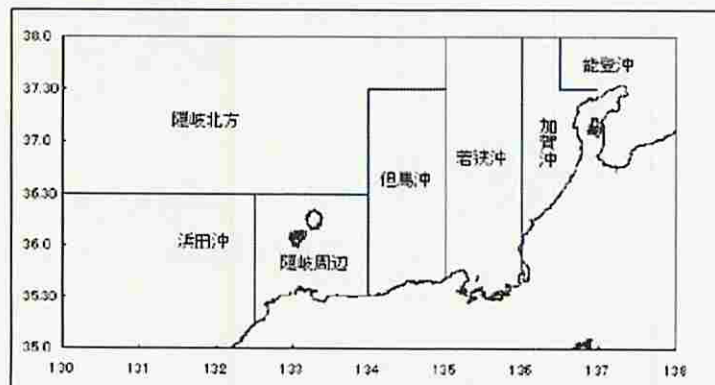


図6 小海区分

「水研センター日水研資料」より引用

標識付きの



スワイガニ 探しています!!

カニごと 届けて下さい



① 白タグ付きのセコガニ
(目的: ヤケ進み具合の確認)

② 発信機付きのカニ
(目的: 行動解析)

標識のみ 届けて下さい



③ 上記①,②以外のタグ付きのカニ
(目的: 移動・分散・漁獲率推定など)

報告事項

- ① 採捕年月日
- ② 採捕場所(緯度経度)・水深
- ③ 採捕船(者)名・連絡先
- ④ 銘柄・甲幅等
- ⑤ 標識



粗品を進呈
いたします

連絡先: 兵庫県但馬水産技術センター

TEL(0796)36-0395 FAX(0796)36-3684

または最寄りの漁協